

■各部会の主な指摘事項に対する対応

【自治安全部会】

○15 頁に「世代を越えた交流が期待できる行事（地蔵盆，遊びの見本市等）の開始」とあるが，遊びの見本市については，今後のあり方について検討中であり，削除してもらいたい
⇒ご意見を踏まえ，削除する。

○地域と大学との連携については再掲でもよいのでどこかで謳う必要がある
⇒ご意見を踏まえ，14 頁の「施策1 地域力の維持・向上」にある「事業：多様な人々，団体の地域活動への参加促進」のところで加筆している。

○多様な方々が地域の行事や合意形成に参加してもらおうということをリード文の中に盛り込む必要がある

○基本課題の部分に様々な立場の方が参加することがよりよいまちにすることになる、というソーシャルインクルージョンの視点を加えるべきである
⇒ご意見を踏まえ，10 頁の「まちづくりの基本課題」及び 14 頁の「施策1 地域力の維持・向上」のリード文、施策2のタイトルとリード文を加筆・修正している。

※なお，学生の居住支援に関するご意見は，魅力発信部会での議論と合わせて，21 頁の「施策1 住みたくなるまち上京の推進」の「事業：住み続けることができる住まいづくりの促進」のところで加筆・修正している。

【福祉・健康部会】

○上京区内の授産所で物品販売もされているので，そこと学生とが連携するという視点があってもよいのではないか。

⇒ご意見を踏まえ，そのような情報を入手しやすくする仕組みづくり，ということで検討したい。

○福祉の方ではワンストップサービスということが意識された施策・事業になっているが，医療の方で考えられないか。患者支援の窓口があるとよい。

⇒ご意見を踏まえ，現在，事務局で検討中である

⇒19 頁の「施策3 福祉のネットワークづくり」の「事業：福祉関係機関と住民団体のネットワーク化」の部分で，加筆・修正することを想定している

※なお，学生や若者の地域活動への参加促進に関するご意見は，自治安全部会での議論と合わせて，14 頁の「施策1 地域力の維持・向上」の「事業：地域内での交流機会の拡大」や「事業：多様な人々，団体の地域活動への参加促進」のところで加筆・修正している。

※また，区のマスコットキャラクターである「かみぎゅうくん」を生かした地域の活性化に冠するご意見は，魅力発信部会での議論と合わせて，21 頁の「施策1 住みたくなるま

ち上京の推進」の「事業：賑わいを創出し、暮らしを支える地域商業の振興」に記載している。

【魅力発信部会】

○京都御所は、正しくは京都御苑とする方がよい

⇒ご意見を踏まえ、修正する

○学生の居住支援、シェアハウスの取り組みなどの報告は、提案として入れることになるのか。

⇒提案として入れる。21 頁の「施策1 住みたくなるまち上京の推進」の「事業：住み続けることができる住まいづくりの促進」のところで加筆している。

○学区の行事等の情報をどこかに集約して、そこに行けば地域と学生がつながる仕組みが必要である

⇒ご意見を踏まえ、21 頁の「施策1 住みたくなるまち上京の推進」の「事業：大学と連携した地域の活性化」ところで加筆している。

○西陣織と西陣織会館と学生との連携も考えられる

○西陣織会館については、この計画でも大々的に位置付けることが必要ではないか。

⇒ご意見を踏まえ、22 頁の「施策2 訪れたくなるまち上京の推進」の「事業：地域に溢れる財産と魅力を生かしたイベントの創生」のところで加筆している。

⇒西陣織会館の活用については、情報の受け手と伝い手のマッチングを考える必要がある

○和装産業の振興に向けては、徹底した裾野を広げる取組が重要だと思っている。小学生から大学生まで、西陣に眠っている人材や筆笥の中の着物を活用して和服に親しむ環境を義務付ける位の徹底した方策を打ち出す必要がある

⇒ご意見を踏まえ、21 頁の「施策1 住みたくなるまち上京の推進」の「事業：学区や小学校を拠点とした魅力ある教育環境の整備促進」のところで加筆している。

○「かみぎゅうくん」の稼働率を計算した方がよい。上京区の行事にもっと出張すべきである。

⇒かみぎゅうくんを上手く活用させる仕組みは検討したい。

○上京区は和菓子の発祥の地であることをどこかで触れておいて欲しい。

⇒22 頁の「施策2 訪れたくなるまち上京の推進」のリード文を加筆